

Press Release(H29/3/7)

教育学部生による「アートで保育」を実施 学生自作の木のおもちゃや、海外の鑑賞教材を用いて教育実践

本学教育学部生が「アートで保育」として、3月9日(木)に岐阜幼稚園を訪問し、年中(4歳児)の3クラスの75名と、「コロコロと動く木のおもちゃ・パズル」と「アートゲーム」で遊ぶ、教育実践を行います。

「コロコロと動く木のおもちゃ・パズル」は、学生が大学の授業の中で図案を考え、板材を電動糸のこぎりや電動ドリルを使って加工し、アクリル絵の具で彩色して作った、手作りの木のおもちゃです。

「アートゲーム」は、アメリカの美術館や学校で行われてきた鑑賞教材で、10年ほど前から日本の美術館や学校でも普及してきました。今回のアートゲームは、岐阜県美術館及び近県にある愛知県美術館・名古屋市美術館・三重県立美術館の作品カード(絵葉書)を活用し、アメリカの実践を参考にして辻教授が教材開発したものです。作品カードでトランプやカルタのようにして遊びます。

将来、教師をめざす教育学部の学生にとって、幼稚園児たちと一緒に活動することは、子どもを体験的に理解し、教師になろうとする気持ちや実践的な力量を培うことにつながると考えます。

については当日の取材について、よろしくお願ひします。

記

日時 3月9日(木) 10:10~12:00(2クラス)

13:00~14:00(1クラス)

会場 岐阜幼稚園(岐阜市西野町3-1)

参加者 岐阜大学教育学部美術教育講座 学生約12名

岐阜幼稚園 年中クラス(4歳児) 75名(3クラス)

企画・運営

辻 泰秀 岐阜大学教育学部教授 専門:美術教育

【問い合わせ先】

岐阜大学教育学部 教授 辻 泰秀

電話:058-293-2277

E-mail:yasuhide@gifu-u.ac.jp